

# 霞城

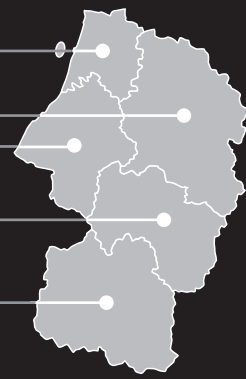
第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス  
[https://www.mod.go.jp/gsd/f/neae/6d/unit\\_hp/20i\\_hp/index.html](https://www.mod.go.jp/gsd/f/neae/6d/unit_hp/20i_hp/index.html)

第20普通科連隊 検索

隊区担当中隊

- 第2中隊
- 第1中隊
- 重迫撃砲中隊
- 第3中隊
- 第4中隊



No.704

# KAJYŌ

## 第4中隊・重迫撃砲中隊・補給小隊が受閲



### 「令和3年度第2次基礎となる部隊の訓練検閲」を実施

重迫撃砲中隊

第4中隊



補給小隊

### 「師団長初度視察」を受察



鬼頭師団長初度視察  
令和3年6月8日(火)

記念撮影

## Contents

2ページ

- 第4中隊・重迫撃砲中隊・補給小隊が受閲「令和3年度第2次基礎となる部隊の訓練検閲」を実施
- 訓練の総仕上げ「自衛官候補生課程 訓練評価・25km徒歩行進訓練」

3ページ

- 「師団長初度視察」を受察
- 類流れる涙 輝くレンジャーき章「令和3年度師団レンジャー集合教育帰還式」

4ページ

- 融和団結を図る「令和3年度第1回予備自衛官招集訓練」を実施
- 「第10回天童高原634の松交流イベント」に協力
- 母校でリクルータが活躍「リクルータによる広報活動」を実施
- 各種表彰 ●定年退官者紹介 ●7月行事予定

2021

# June 6



約40kmを整斉と行進



# 第4中隊・重迫撃砲中隊・補給小隊が受閲 「令和3年度第2次基礎となる 部隊の訓練検閲」を実施

5月23日(日)から28日(金)の5夜6日にわたり、白河布引山演習場(福島県)において「令和3年度第2次基礎となる部隊の訓練検閲」として第4中隊(中隊長・大東1尉)が、課目「戦闘前哨等としての行動」、重迫撃砲中隊(中隊長・佐藤1尉)が、課目「陣地防衛における火力戦闘」、補給小隊(小隊長・三浦3尉)が、課目「陣地防衛における連隊列の展開」について、第44普通科連隊との対抗方式で検閲を受閲した。また、併せて第3中隊が、7月のFTC訓練に向けて陣地防衛の練成訓練を実施した。

3点を要望し、「全隊員が一丸となり、任務の完遂に邁進することを期待する」と訓示した。受閲部隊は行進開始に先立ち、集結地から発進点までの移動所要時間を計測させ、各小隊等の前進開始時間を統制し、23日1700整斉と行進を開始した。各隊員は行進計画に基づき速度を維持し、隊形の保持、無声指揮に努めつつ、演習場周辺約40kmを行進し、全隊員が完歩した。

受閲部隊は徒步行進の疲労をものともせず、引き続き陣地地域での防衛準備に着手した。第4中隊は戦闘前哨から予備隊としての任務まで広範多岐な準備を行い、防衛戦闘に万全を期した。また重迫撃砲中隊は速やかに射撃陣地に進入して射撃準備を完了させるとともに、進入した際に生じた轍を整理し痕跡の除去を行うなど、射撃陣地位置の秘匿を図っていた。補給小隊は、燃料交付所の開設時に創意工夫資材を活用するなど、豊富な知識及び経験を活かしつつ、迅速に兵站業務態勢を確立させた。

この防衛戦闘では第4中隊が、第44普通科連隊の前衛中隊の前進をおおむね計画通り遅滞し、後退すると対抗部隊と主戦闘地域の第3中隊との間で激しい攻防が繰り広げられた。戦闘の終始を通じて重迫撃砲中隊は、彼我の部隊の位置を確認しつつ、流動的に推移する戦況の中、第一線部隊の戦闘に密接に連携した効果的な火力戦闘を継続した。また段列の補給小隊は襲撃部隊に襲撃された際、綿密に調整された対処計画に基づき敵の脅威を迅速に排除した。更に縦深に集結した第4中隊は第一線に対する逆襲、後方地域への敵ヘリボン対処等奮闘し、連隊の主陣地保守に寄与する等、受閲各部隊はその役割を全うし、見事与えられた任務を完遂した。



補給小隊が兵站業務を遂行



重迫撃砲中隊が効果的な火力を発揮



第4中隊が強靱な防衛戦闘を実施

優秀隊員紹介

○ 第4中隊				
・ 中隊本部	斥候長	2曹	阿部 孝幸	
・ 第1小隊	副分隊長	3曹	武田 祥	
・ 第2小隊	通信手	士長	上野原大夢	
・ 第3小隊	分隊長	2曹	秋葉 和	
・ 迫撃砲小隊	射撃陸曹	3曹	佐藤 龍治	
・ 狙撃班	狙撃手	3曹	須藤 順平	
○ 重迫撃砲中隊				
・ 中隊本部	弾薬班長	1曹	佐藤 俊明	
・ 中隊本部	測量班	士長	垂石 悠真	
・ 第1小隊	通信手	1士	橋本 未句	
・ 第2小隊	砲手	3曹	大場 鉄平	
○ 補給小隊				
・ 補給班	補給陸曹	1曹	多田健太郎	

30日(日)には、訓練終了後の研究会が実施され、最上級曹長の統制により隊員の基礎動作のほか、戦闘様相、成果及び教訓について認識を統一した。

元気よく行進開始!



25km徒步行進訓練

激励に駆けつけて下さった隊友会東根支部及び東根市自衛隊家族会の皆様



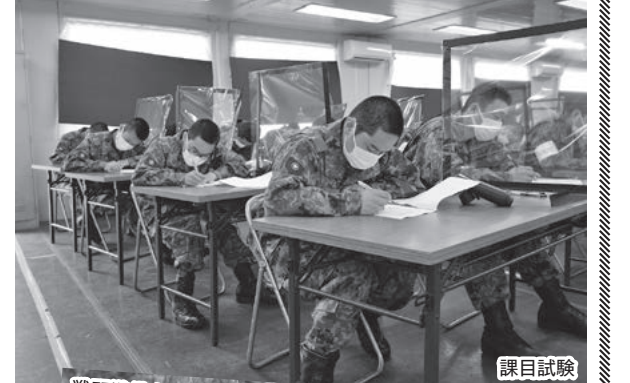
行進訓練間、山形県隊友会東根支部、東根市自衛隊家族会の皆様から激励に駆けつけて下さり、候補生たちは激励を糧に25km完歩を目標に邁進した。

## 訓練の総仕上げ 「自衛官候補生課程 訓練評価・25km徒步行進訓練」

新隊員教育隊教育隊長・浅野2佐は6月7日(月)、9日(水)に神町駐屯地において、いままでの訓練の成果を発揮する「訓練評価」を実施した。候補生たちは真剣に課目試験、基本教練、89式小銃の分解結合、戦闘訓練などの各



班長の号令の下、行進間動作を実施



課目試験



初夏を駆け抜ける候補生たち



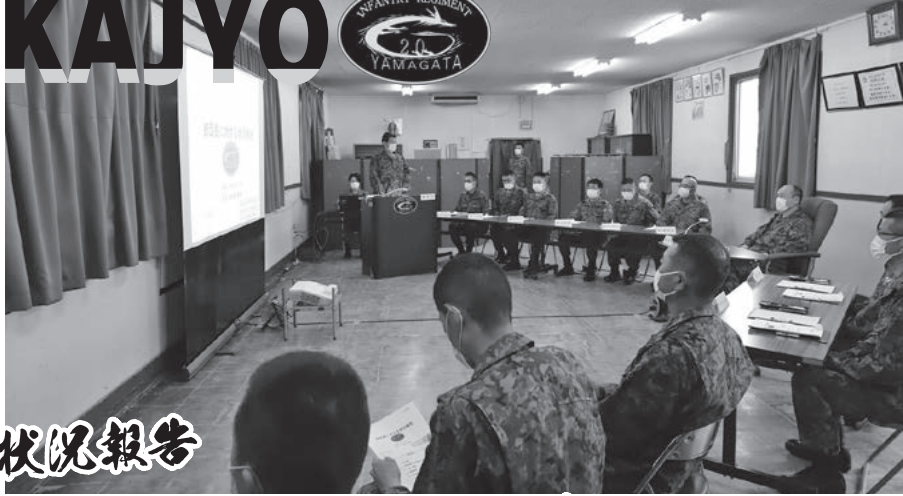
戦闘訓練

種課目に臨み、これまでの訓練の成果を遺憾なく発揮した。特に戦闘訓練において、候補生たちは、ドーランや現地の草木を利用して偽装を施し万全な態勢で訓練に臨み、これまでに修得してきた「ほくく」や「射撃動作」を駆使し、大粒の汗を流しながら、大きな声で報告などを行い、初夏の暑さに負けることなく一生懸命に取り組む、全ての班が目標奪取に成功した。

戦闘準備よし!



## 状況報告



生活隊舎を視察される師団長

師団長は勤務隊舎、生活隊舎を視察された際、各隊員に対し、業務や営内生活の悩み等を質問され現場の声に耳を傾け、直接ご指導を頂くなど貴重な時間となった。最後に師団長より激励の御言葉を頂き初度視察は終了した。

## 「師団長初度視察」を受察

3月26日(金)に着任された第41代第6師団長 鬼頭健司(きとうけんじ) 陸将の初度視察を6月8日(火)に受察した。

視察では、2号隊舎前において連隊長(荒木一佐)以下11名の幕僚・各中隊長が出迎えを行い、記念撮影を実施した。引き続き連隊長室において幹部挨拶、連隊教場において状況報告を実施した後、施設等巡視(2号隊舎、3号隊舎、連隊倉庫群、7号隊舎)が行われた。



幹部挨拶

## 頬流れる涙 輝く レンジャーき章! 「令和3年度 師団レンジャー集合教育帰還式」

頬流れる涙 輝く レンジャーき章!



担任官によるレンジャーき章授与

3月29日(月)から6月11日(金)までの間、「令和3年度師団レンジャー集合教育」が神町駐屯地を拠点に実施され、「主として遊撃行動により困難な状況を克服して任務を完遂する能力及び精神力を付与すること」を目的に行われた。

本訓練は陸上自衛隊の中でも特に過酷な訓練の一つと言われており、身体的・精神的に厳しい状況の中で、潜入、爆破及び遊撃行動など各種任務を段階的に練成し、最終想定では約50kgもの装備品を背負い、糧食制限、不眠不休の行動など数多くの困難が立ちほだかるなか、山地を機動し、想像を絶する環境で任務を遂行した。



堂々たる凱旋

### 帰還報告



花束贈呈

6月11日(金)、0900全想定を終了した24名(内連隊8名)がレンジャー旗を掲げ、一糸乱れぬ隊列を組み、神町駐屯地に帰還した。各部隊の隊員が万雷の拍手で出迎える中、「我ら、精鋭、レンジャー」と力強く勇ましい掛け声をかけながら、堂々たる凱旋をした。

営庭で行われた帰還式において、学生長が担任官(連隊長・荒木一佐)に対し、帰還報告を行った。担任官は全ての任務を



新たにレンジャー隊員となった連隊隊員8名

最後に学生代表挨拶では、学生長小山学生が「最後まで諦めることなく任務を完遂出来て良かった。応援して下さいました」と述べた。レンジャー隊員となった24名は、胸に光るレンジャーき章にふさわしい隊員となるべく、さらに己の知識・技術を磨き続けていく。

引き続き行われた「レンジャーき章授与」では、担任官が一人ひとりに「よく頑張った」と声をかけながら、光輝くレンジャーき章を授与した。また花束贈呈においては、各部隊の隊員が学生のもとへ歩みより「本当にお疲れ様」と優しく言葉をかけ、花束を手渡した。安堵から涙を流す学生もいれば、達成感と歓喜に満ち溢れ3カ月ぶりに満面の笑みを見せる学生もいた。

### 第5期師団レンジャー隊員紹介

第1中隊	3曹	沼澤 翔輝
第2中隊 同	3曹	阿部 譲
	3曹	山口 幸弥
第3中隊	3曹	村山 拓磨
第4中隊 同 同	3曹	後藤 敦志
	3曹	布施 翔也
	3曹	村山 弦士
重迫撃砲中隊	3曹	秋葉 裕太



## 7月行事予定

- 5日(月) ・新隊員特技課程及び第17期一般陸曹候補生課程後期教育開始式
- 5日(月)～9日(金) ・大高根演習場整備
- 30日(金) ・転出者紹介行事

## 各種表彰

- 【連隊長表彰】  
○第4級賞詞  
(車両無事故走向5万キロの功績)  
・第3中隊 2曹 荒井 仁  
・同 3曹 皆川 裕也
- 【令和2年度官用車両安全運行優秀中隊】  
・第1中隊
- 【顕彰状及び連隊長褒賞メダル】  
(令和2年度陸士特技「初級らっぱ」養成集合訓練において成績優秀)  
・重迫撃砲中隊 士長 橋本 美句
- 【連隊長褒賞メダル】  
(副連隊長伝令の功績)  
・本部管理中隊 士長 安達 優駿
- 【駐屯地業務隊長より褒賞状】  
(駐屯地広報係としての功績)  
・第3中隊 1曹 小林 一則
- 【5月警衛勤務優秀らっぱ手】  
・第3中隊 士長 佐藤 大亮  
(10日上番)  
・重迫撃砲中隊 士長 八巻 一徳  
(12日上番)  
・本部管理中隊 3曹 後藤 政樹  
(19日上番)

永年の勤務、お疲れ様でした。

## 定年退官者紹介



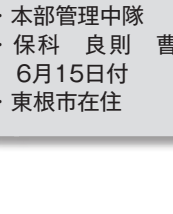
・本部管理中隊  
・高橋 正美 曹長  
5月24日付  
・村山市在住



・本部管理中隊  
・奥山 信一 曹長  
5月29日付  
・東根市在住



・本部管理中隊  
・吹風 修 3尉  
6月4日付  
・東根市在住



・本部管理中隊  
・保科 良則 曹長  
6月15日付  
・東根市在住



# 融和団結「令和3年度第1回予備自衛官招集訓練」を実施

6月11日(金)から15日(火)までの間、神町駐屯地において「令和3年度第1回予備自衛官招集訓練」を実施した。

11日、訓練開始式が営庭で行われ、連隊長(荒木1佐)は「任務を意識し、各種訓練に真剣に取り組んでもらいたい」「融和団結」「健康管理」の3点を要望し、「本訓練の目的を十分に達成することを期待すること」を訓示した。

本訓練は、第2中隊(中隊長・久我谷3佐)が担い、基本教練、射撃訓練、体力測定、及び救急法、そのほか、特殊武器防護訓練を



隊旗授与



救急法

実施した。参加者は疑問点を教官・助教に積極的に質問して理解を深めるなど熱心に取り組みつつ、久々に再会する旧友や現役隊員との親交を深めていた。

15日(火)に実施された訓練終了式において副連隊長(連隊長代理)は「予備自衛官として実際に招集され、与えられた任務を完遂するためには何をすべきか意識し、物心両面の準備を継続してほしい」と述べた。



射撃予習

## 母校でリクルータが活躍「リクルータによる広報活動」を実施



リクルータとして活躍  
本部管理中隊 鈴木 美鈴1士

6月11日(金)、山形学院高等学校において実施された、「自衛官採用制度説明会」にリクルータとして本部管理中隊 鈴木1士が参加した。

鈴木1士は、入隊を希望する7名の生徒に対し、自衛隊の訓練や営内での生活等について、スライドを活用して説明を行った。参加者から「自分に合う職種があるか不安」という意見に対し、「私は通信小隊で勤務しているが自衛隊には男女問わず活躍できる職種がある」と丁寧に回答しつつ、一生懸命に自衛隊の活動を分かりやすく説明していた。

参加した生徒たちは「自衛隊の活動を知ることができて良かった」「自分も誰かの役に立てる仕事に就きたい」と述べ、自衛官という職業に関心を示していた。

## 「第10回 天童高原634の松交流イベント」に協力

6月5日(土)、天童高原キャンプ場において天童高原634の松交流イベント実行委員会が主催する「第10回天童高原634の松交流イベント」に協力した。

連隊からは第3中隊の4名が参加し、装備品展示(高機動車)及び説明、天幕設置、らっぱ吹奏を実施した。2名のらっぱ手がイベント開始時に吹奏を行った際には、来場者が足を止め「音が綺麗だね、



天童高原に響き渡るらっぱの音色

近感の醸成を図りつつ、協力した隊員も地域の皆様から活力を頂いた。

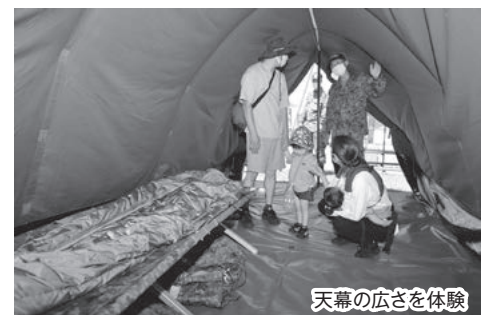
来場者は隊員や、高機動車とともに記念写真を撮影したほか、設置された天幕内に入り実際の広さを体験するなど、装備品展示を楽しんでいた。イベント間、「自衛隊の車カッコイイ!」「自衛隊のテントに入れるなんて貴重だね!」などの声が飛び交い、イベントの盛り上げに貢献するとともに、地域住民等の自衛隊に対する理解の促進と親



隊員と記念撮影



アルコール消毒で  
コロナ対策



天幕の広さを体験